

## 令和3年度 第2回大和市環境審議会 議事録

I. 開催日時 令和3年11月10日(水) 午後1時30分～午後3時40分 施設見学  
午後3時50分～午後4時40分 審議

II. 開催場所 大和市役所本庁5階 委員会室

III. 出席状況 委員 10人  
池田勝彦委員(会長)、石井敏英委員(職務代理)、池貝隆宏委員、  
宇佐美貴委員、太田正則委員、大西眞委員、大山優委員、  
小川道子委員、竹内信義委員、羽染久委員  
事務局：環境施設農政部長ほか 9人

IV. 傍聴人 0人

V. 公開・非公開の状況

公開 非公開 一部非公開

VI. 審議又は検討の経過及び結果

### A. 会議次第

- 1 指定管理施設見学  
(大和ゆとりの森、柳橋ふれあいプラザ、引地台温水プール)
- 2 会長挨拶
- 3 議題  
(1) 引地台温水プール施設の開閉時間について  
(2) 柳橋ふれあいプラザ施設の開閉時間について
- 4 その他

### B. 資料

○引地台温水プール施設の開閉時間について  
「大和市都市公園条例の一部について」(資料1)

○柳橋ふれあいプラザ施設の開閉時間について  
「大和市柳橋ふれあいプラザ施設の開閉時間について(資料2)  
「柳橋ふれあいプラザ概要・資料状況」(資料2-1)

「柳橋ふれあいプラザ 施設の概要」(資料2-2)

C. 審議内容など

- ・各議題について所管課より一括にて説明を行い、質疑とともに各委員が意見を述べた。

委員 コロナウイルスワクチン接種が概ね完了していることから、プールについては、使用制限を行いながら再開すれば良い。他の市町村では供用しているところもあるので、大和市が来年4月からということだが、もっと早くやっても良いくらいだ。しかしながら、再びの感染拡大に備え、利用制限や使用条件を検討しつつ、柳橋ふれあいプラザの浴室や娯楽室の使用についても、できるだけ有効活用していくことで良いと思う。

委員 温水プール再開について、基本的な考え方は提案のとおりで良い。感染対策は継続してやっていくことになるが、プール内ではマスクは付けられない。そこで、利用者の館内でのマスク着脱のタイミングについて、どのように考えているのか聞きたい。

事務局 入館し、更衣室まではマスクを着用し、プールを出た後はなるべく早い着替えとマスク着用をし、速やかにご退館いただく。マスク着用については、指定管理者において利用者への協力を徹底してお願いしていく。さらに、ロッカー利用人数を半分とし、混雑時には密にならないように開いていきたい。また、利用者の少ない時間帯については、指定管理者との話し合いの結果、2時間早い閉館となった。

委員 柳橋ふれあいプラザの浴室は利用者の少なくなる時間帯(12:30~13:30)に、清掃・消毒や換気をするために利用不可とすることは良いと思う。脱衣室のロッカーの数は決まっているが、入場の利用上限数は定めるのか。

事務局 ロッカーは約20個ずつあるが、30分ごとに職員による浴室の見回りや塩素測定などを行うため、コロナ以前から約10人程度の利用になるよう受付で調整していた。今後も利用状況を見ながら、対応していきたい。

委員 令和3年度温水プールの1年間の供用停止を行った際にも、条例の改正が必要だったのか。また、感染が拡大して停止するときもその都度改正が必要なのか。今回の附則をつければ柔軟に動けるのか。

事務局 緊急事態宣言が発出されたときは、適宜市長の判断で柔軟に動いているが、今回のような事前に準備する案件については、条例に明記されている供用時間についてご審議いただき、附則において変更する旨を定めることとなる。

委員 施設見学をした基地周辺の土地は今まで防衛省のものだったのか。

事務局 ゆとりの森については市の土地も一部あるが、概ね防衛省の土地を無償で借り、公園整備を行った。引地台公園は大蔵省や神奈川県名義の土地を借りている。

委員 ゆとりの森施設は災害時の避難所になっていると聞いた。今後は脱炭素社会に向け再生可能エネルギー・太陽光発電を活用した運営ができる仕組みの検討を進めてほしい。プールについても同様に検討してもらいたい。

・審議終了後、次回開催予定について事務局より案内した。

<閉会>